

計画の基本目標

みんなので創ろう！ 人が輝く元気とやま



新しい総合計画 「元気とやま創造計画」を策定

少子高齢化・人口減少、グローバル化、情報化の進展など、私たちの暮らしを取り巻く環境は大きく変化しています。県では、こうした変化を踏まえ、中長期の広い視野に立って県政運営を行うため、概ね10年後の平成27年度を目標とする新しい総合計画「元気とやま創造計画」を策定しました。

県づくりの主役は、富山に暮らす私たちです。そこで新しい総合計画では、まず、10年後の目指すべき富山県の姿を描き、その実現に向けた具体的な目標を県民全体で共有し、力をあわせて元気な県づくりを進めていきたいと考えています。

皆さんの声をもとに、10年後に向けて、たくさんの夢を描きました。10年後の満足を創るのは、そこに暮らす私たち一人ひとりと、そして、あなたです。

富山県における環境変化

- ◎少子高齢化の進行と人口減少時代の到来
- ◎中国など環日本海諸国の著しい発展と市場の拡大
- ◎東京など大都市圏との格差の拡大
- ◎北陸新幹線が平成26年度末までに開業予定
- ◎東海北陸自動車道の全線開通(平成20年3月)、国際航空便の充実
- ◎国・地方を通ずる財政の深刻化
- ◎市町村合併により全国最小の15市町村に(平成18年3月末)など

平成27年頃の 期待される富山県の姿

勤勉で進取の気性に富む人材、
恵まれた交通・情報通信基盤、産業集積などを活かし、
創意工夫、意欲ある取組みが展開されている

「活力」あふれる県

【例えば】

- 新産業の創出などによって経済活動が活発になり、安定した魅力ある職場が確保され、女性や高齢者も希望の職場でいきいきと働いている
- 北陸新幹線の開業によって、多くの県民が首都圏へ出かけ、首都圏からは、多くの人達が観光やビジネスで来県している



明日を担う人材が健やかに生まれ、
多彩な県民活動、美しい県土づくりが進められている

「未来」への希望に満ちた県

【例えば】

- 保育所の延長保育、地域の子育て支援センター、事業所内保育所の普及や男性の育児休業取得が進むなど、働きながら安心して子育てができるようになっていく
- 全国に富山のくらし良さを発信することなどにより、大都市圏からの定住・半定住が進み、地域の歴史・文化に触れ、活かしながら、地域住民とともに新しい魅力や文化を創造している

豊かな自然や生活環境を活かし、
住み慣れた地域の中で、健康で快適に、安全で

「安心」して暮らせる県

【例えば】

- 「富山型デイサービス」の普及や地域住民によるケアネット活動などにより、高齢者や障害者が地域ぐるみで支えられ、住み慣れた地域の中で、安心して暮らしている
- 県民の防犯意識が高まり、学校安全パトロール隊などへの参加が活発になるとともに、地域が一体となった安全なまちづくりの取組みにより、幼児から高齢者まで誰もが安心して暮らしている



元気とやまの実現のためには、様々な努力が必要です。

将来像の実現に向けた政策

一番の目標は、一人ひとりの満足度を高めることです。

10年後の目指すべき姿の実現のために、55の政策とその目標を設定し、「活力とやま」「未来とやま」「安心とやま」の3つの柱に体系化して取組みの方策を示しています。



活力とやま 知恵と技術を活かした活力あふれる地域づくり……20政策

新産業の創出、広域観光・国際観光の振興、富山のブランドカアップ、中心市街地の賑わいの創出 など

●政策目標を達成するために県が行う具体的な取組み(例)

知恵と技術を活かした産業の振興

- ・IT、医薬、機械関連製造業等の立地推進
- ・次世代ロボット技術の育成
- ・人材確保対策とU・Iターンの推進
- ・ものづくり人材養成への支援
- ・富山米のブランド力強化 ほか



細胞チップの研究風景

観光の振興、交通・物流基盤の整備

- ・海外向け誘客宣伝活動の実施
- ・越中料理のブランド化の推進
- ・富山のくらしの魅力発信
- ・北陸新幹線長野・金沢間の早期完成
- ・能越自動車道の整備促進
- ・伏木富山港の整備 ほか



立山黒部アルペンルート(雪の大谷)

活力あるまちづくり

- ・富山駅付近の在来線の高架化
- ・市街地再開発事業等の促進
- ・河川、運河、港等の水辺空間を活かしたまちづくりの推進
- ・まちなか居住など多様な都市機能の集積促進
- ・超高速ブロードバンドの整備促進 ほか



富山駅周辺整備イメージ

参考:平成27年度を目標とする指標(例)

【新産業の創出】

■IT関連製品の製造品出荷額 (IT関連製品:電子部品・電子デバイス)

現状値……4,696億円(平成16年)

目標値……7,000億円(平成27年)

【広域観光・国際観光の振興】

■外国人宿泊者数

(県内の主要宿泊施設における外国人宿泊者数集計)

現状値……70,390人(平成17年)

目標値……100,000人(平成27年)

【情報通信基盤の充実と活用】

■超高速ブロードバンドサービスの世帯カバー率

(超高速ブロードバンドサービス:上り・下りとも通信速度30Mbps級以上)

現状値……53.7%(平成17年)

目標値……100%(平成27年)

未来とやま 未来を築く人づくり・美しい県土づくり……17政策

生涯を通した学びの推進、芸術文化の振興、国際化の推進、交流人口の拡大、定住・半定住の促進 など

●政策目標を達成するために県が行う具体的な取組み(例)

子育て支援、教育の充実

- ・地域子育て支援センターの設置促進
- ・放課後児童の居場所づくりの推進
- ・社会に学ぶ14歳の挑戦など、社会性を伸ばす体験活動の充実
- ・教員カウンセラーの養成など相談体制の充実 ほか



地域子育て支援センター

多彩な県民活動の推進

- ・芸術文化活動への参加の促進
- ・世界に発信できる文化の創造・交流
- ・友好省・州等との国際交流の推進
- ・女性管理職の登用促進
- ・NPO法人制度の普及啓発
- ・民間との連携による若者の自立促進 ほか



子ども演劇祭

魅力ある地域づくり

- ・とやまへの定住・半定住の促進
- ・世界遺産登録に向けた活動の展開
- ・屋外広告物の適正化による良好な景観づくり
- ・県民全体で支えるとやまの森づくりの推進 ほか



都市と農山漁村の交流の推進

参考:平成27年度を目標とする指標(例)

【家庭や地域における健やかな子どもの育成】

■放課後子ども教室等*を実施している小学校区の割合

(*)放課後児童クラブ、とやまっ子さんさん広場

現状値……87.8%(平成18年)

目標値……95%(平成27年)

全小学校区での実施(へき地・小規模校除く)

【自主的な社会活動の推進】

■NPO法人認証数

(NPO法人認証数累計)

現状値……154法人(平成17年)

目標値……400法人(平成27年)

現在の人口当たりの全国トップレベル

【豊かで美しい森づくり・花と緑の地域づくり】

■県民参加による森づくり参加人数

(里山林等の森づくり活動への年間参加延べ人数)

現状値……1,672人(平成17年)

目標値……7,000人(平成27年)

安心とやま

健康で安全、安心な暮らしづくり……18政策

健康づくりの推進、循環型・脱温暖化社会の構築、生活交通の確保、県土保全の推進 など

●政策目標を達成するために県が行う具体的な取組み(例)

健康づくりと医療、福祉の充実

- ・医師・看護職員の確保
- ・「富山型」がん診療体制の整備・充実
- ・健康づくりの推進
- ・総合型地域スポーツクラブへの支援
- ・富山型デイサービス施設の整備促進
- ・障害者のニーズに応じたサービス

豊かで快適な環境の保全

- ・里山の再生整備などによる人と野生生物との共生
- ・大気、水質等の環境状況の調査
- ・環境にやさしいエコライフスタイルの普及
- ・廃棄物の循環的利用の促進

安全・安心な暮らしの確保

- ・鉄道、路面電車、バスの維持活性化対策への支援
- ・砂防・治水施設の整備
- ・救急救命士の養成への支援
- ・自主防災組織の拡充
- ・学校安全パトロール隊などの支援



PET/CTカメラ



ナチュラリストの活動



青色回転灯装備車によるパトロール活動

参考:平成27年度を目標とする指標(例)

【地域総合福祉の推進】

■富山型デイサービス施設設置数

現状値……37か所(平成17年)

目標値……100か所(平成27年)

小学校区の約1/2に設置

【循環型・脱温暖化社会の構築】

■世帯当たりのエネルギー消費量の削減率

(平成14年を基準)

現状値……4.6%(平成16年)

目標値……10%以上(平成27年)

【防災・危機管理体制の充実】

■気管挿管及び薬剤投与が実施可能な救急救命士数

現状値……2人(平成18年4月1日)

目標値……150人(平成27年)

全救急車に1名乗務

長期構想

10年の、さらに未来へ。

長期的視野で取り組む重点課題や夢のある構想も示しています。

1 アジアとともに発展するものづくり拠点構想

アジアとともに発展するという観点から、本県独自のものづくり産業の振興を図ります。「ロボット技術の拠点」や「世界の試作品センター」となることを目指します。



2 越中とやま・食の王国構想

富山の食材が国内だけでなく世界に通用する競争力の高い安全で安心な特産品となるよう、戦略的な商品開発、ブランド化の推進、販売力の強化を図ります。

3 環日本海ゲートウェイ構想

北陸新幹線や東海北陸自動車道、空港・港湾の整備により、北陸、中京圏等と世界をつなぐ交流の拠点を目指します。

4 日本の未来を拓く人づくり構想

元気で創造性豊かな子どもの育成、温かい心の醸成、自立心の育成を図り、富山県はもとより、日本の明日を拓く人づくりを推進します。

5 世界に発信する文化・学術交流拠点構想

富山が、世界の各地域と結びつき、質の高い文化の創造と発信、交流を行います。環日本海地域の知的ネットワークを形成し、学術交流の拠点となることを目指します。



6 立山・黒部「美しきアルプスの国」構想

立山・黒部など北アルプス一帯の雄大な自然の保護と利活用を図ります。立山の歴史・文化の発掘を進め、多くの人々が訪れる世界的な山岳観光地を目指します。

7 「神秘の宝庫 富山湾」構想

富山湾の特徴を活かした海洋観光などの推進を図ります。深層水等の海洋資源の活用や研究・開発などを進め、「不思議の海 富山湾」の活用に取り組みます。

8 「健康長寿100歳」構想

薬の伝統と生命科学(バイオ)の研究機能の集積を活かし、医薬・バイオの開発・生産拠点づくりに取り組みます。県民誰もがいつまでも健康で生き生きと暮らせる健康・長寿県を目指します。



9 水と緑のワンダーランド構想

世界のモデルとなる健全な水循環系の保全や機能の高い森づくりを進めながら、とやま型のエコライフスタイルを定着させ、循環型・脱温暖化社会の構築を進めます。

10 とやま快適お出かけネットワーク構想

本県の鉄軌道ネットワークなどを活かし、人と環境にやさしい、全国に誇れる利便性の高い公共交通網の構築を目指します。



計画の特徴

「みんなで創りあげる」活動そのものが、「元気とやま」の姿です。

「元気とやま創造計画」は、これからの県政運営の指針として、毎年度の予算編成や事業立案などの基本となるものです。県民にとって、どのような暮らしが望ましいのか、そのためにどのような県づくりが必要なのか、目指すべき将来像を描き、その実現を図るための目標を設定しています。そして、その具体的な目標を県民全体で共有し、みんなで力を合わせて「元気とやま」を実現していくため、県づくりを担う様々な主体に期待される役割を記載しています。

県民と県が目標を共有

例えば、【健康づくりの推進】という政策では、目標の実現に向けて、各主体に次のような役割が期待されます。



「成果」を重視

これまでは、県がどれだけ仕事をしたかという「事業量」を重視していたのに対し、「元気とやま創造計画」では、施策の実施によって県民生活がどのように改善されたのかという「成果」を重視します。

●成果重視の計画の考え方(例)

【これまで】 県がどれだけ 仕事をしたか	【今後】 県民生活が どのように改善されたか
公共体育館面積 (人口千人当たり:平成14年) 252.6㎡(全国115.8㎡) 全国3位 どれだけ施設を整備したかを重視	運動習慣のある人の割合 (平成16年) 男性19.6%(全国30.9%) 女性15.6%(全国25.8%) 運動習慣のある人がどれだけ増えたかを重視

これからの県政運営

計画を着実に推進していくため、以下の基本姿勢に立って県政を運営します。

- 県民参加によるオープンでわかりやすい県政
- 県民の自立と幸せを重視する県政
- トップ自らが汗をかくスピード重視の県政
- 現場重視で効率的な県政
- 「とやまから日本を変える」改革と創造の県政

Information

「元気とやま創造計画」は、県立・市町村立図書館などでご覧いただくことができます。(購入を希望される方については、県民会館1階ロビーにある県刊行物センターで販売しております。) また、富山県庁ホームページ(<http://www.pref.toyama.jp/>)「総合計画の策定」のページから内容をご覧いただくこともできます。

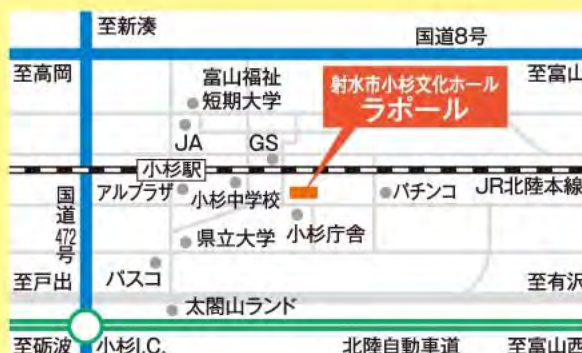
■ 問合せ…[県庁知事政策室]
TEL.076-444-4058 FAX.076-444-3473

○「県広報とやま」に関するご連絡、ご質問は
〒930-8501(住所記入不要)
県庁広報課あて TEL.076-444-3134 FAX.076-444-3478
E-mailは次のアドレスのフォームよりお送りください。
<http://www.pref.toyama.jp/form.html>
広報課ホームページ http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1001/index.html

タウンミーティングで お会いしましょう。

「元気とやま創造計画」をテーマに、知事のタウンミーティングを開催します!皆さんの参加をお待ちしております。

日時 平成19年9月2日(日) 14:00~
場所 射水市小杉文化ホール ラポール
(射水市戸破1500番地)



事前申込不要

入場無料

※今後、他の会場での開催も予定しております。